

1. 実施機関名

国立大学法人金沢大学

2. 企画名

世界でかがやく科学技術イノベーション人材の育成

3. 総合評価コメント

二次選抜後の研究室とのマッチングについて、全学体制のもと連携機関の北陸先端科学技術大学院大学による協力を得て、487 テーマの選択肢を提供し、受講生のニーズに対応できたことは特筆に値する。主に北陸地域において事業の認知度を上げる工夫を行い、幅広く受講生を集めることに成功し、最終年度には初年度の 2 倍を超える応募者を集めたことは評価できる。多くの教育委員会や企業がコンソーシアムを形成し、安定した実施体制を構築しており、民間から外部資金を調達している点も良い。

一方、受講生の成果において、国際学会発表では目標値を大きく上回り、外国語論文発表でも一定の実績をあげることができたものの、日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジなどの科学技術コンテストへの応募が少ないことは残念である。完成度の高い研究成果を発表するだけでなく、着想や途中段階での成果を発表するなど積極的な参加を促す工夫が求められる。

今後、実施機関としての経験や本企画での実績を生かし、全学的な協力体制のもと、北陸地域の中核として長期的な企画を継続するとともに、積極的な情報発信などによる企画の成果やプログラムの社会への普及・展開を期待する。